

復興防災公園（仮称）等の基本計画（案）

【概要】

令和2年2月

岡山県倉敷市

復興防災公園（仮称）等の基本計画（案）【概要】

1 計画策定の目的

本計画は、真備地区の小田川沿いに災害時の防災拠点となり、平常時の防災教育の場、川を感じ楽しめる場、真備の魅力を発信できる場等としても活用できる復興防災公園（仮称）等を整備するため、これまでに開催した復興懇談会等におけるご意見や住民参加のワークショップでの検討結果をふまえ、整備方針、ゾーニング、維持管理の方針等を示すものです。

2 整備方針

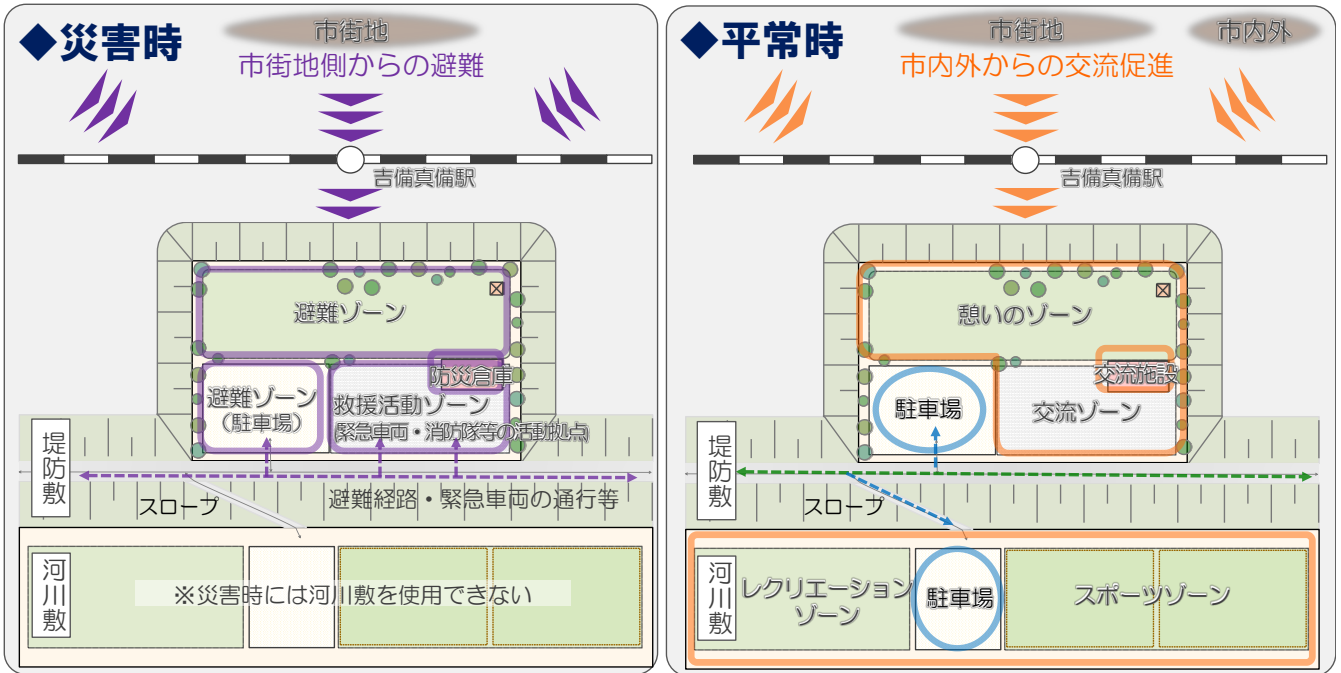
- ・ 災害時の水防活動に必要な緊急用資材等を備蓄し、緊急・応急活動、復旧等を迅速に行えるよう、小田川の河道掘削土を有効に活用し、「防災拠点」を整備します
- ・ 災害時に指定された避難所に避難することが困難な場合、危険から緊急的に逃れるための場所として、車での避難も可能となる浸水時の一時避難場所を確保します
- ・ 平常時は、川を活かした防災教育の場、住民の憩いの場、子どもたちが遊べる場、真備地区の住民だけでなく市内外からの来訪者が交流できる場、真備の魅力を発信する場等として活用します
- ・ 小田川河川敷等の魅力ある水辺空間を活用し、スポーツやレクリエーション等、川を感じ楽しめる空間となるよう、川を活かしたまちづくりを進めます
- ・ 日頃から住民が川と積極的に関わることで、防災に対する意識の向上を図ります

区分	活動イメージ
災害時	・ 防災拠点、一時避難場所
平常時	・ 防災教育の場 ・ 憩いの場、子どもたちが遊べる場、 交流の場、真備の魅力を発信する場

図-1 活動イメージ

3 ゾーニングの考え方

災害時と平常時の両面で活用できるゾーニングを設定します。



※災害時には憩いのゾーンも臨時駐車場として活用します

図-2 ゾーニングのイメージ

4 復興防災公園（仮称）等の断面イメージ

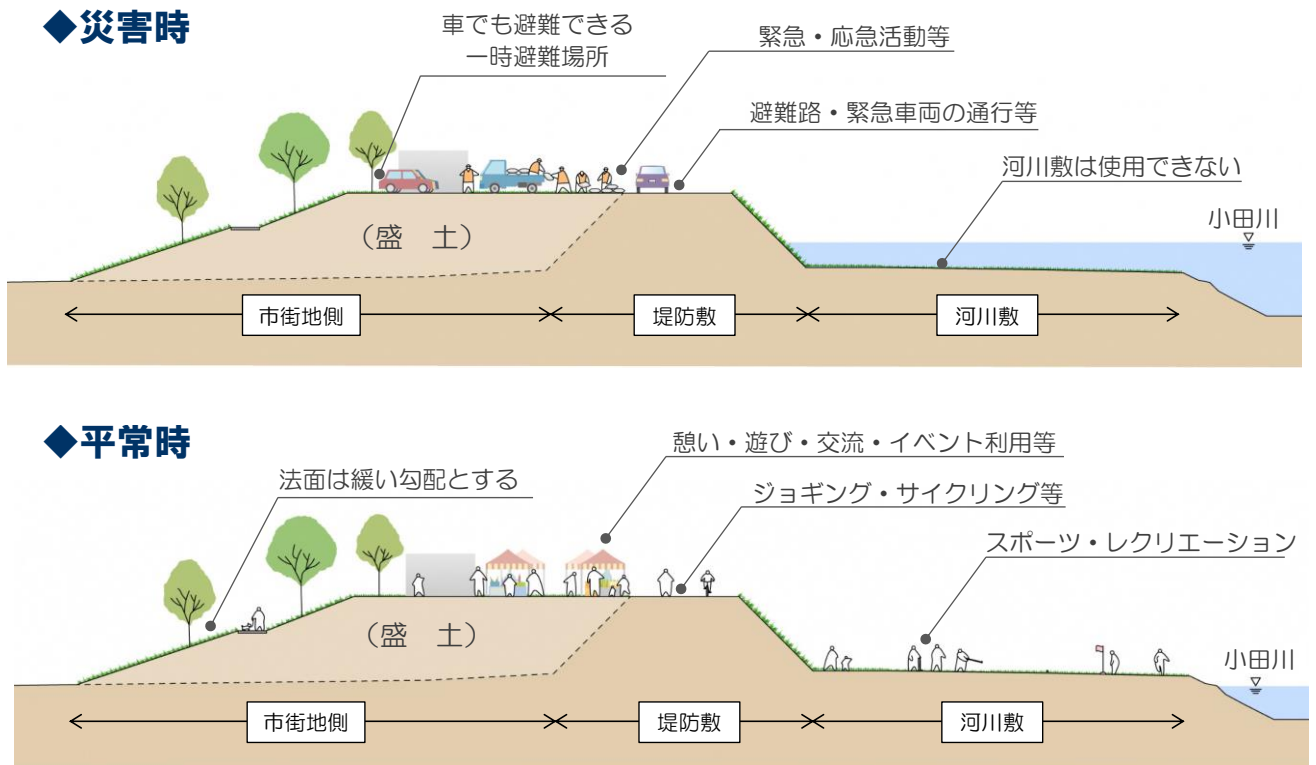


図-3 断面イメージ

5 整備予定地

復興防災公園（仮称）等の整備予定地は、以下の観点から選定します。

- ・ 真備地区の各地区から利用しやすい場所にある
- ・ 小田川河川敷を含め、必要な一定規模以上の面積が確保できる
- ・ 市内外から訪れやすいよう車や井原鉄道でのアクセス性が良好
- ・ 倉敷市都市計画マスタープランに位置付けられた真備地区の地区拠点（吉備真備駅周辺）に隣接する

上記を総合的に勘案した結果、小田川沿いの、下図に示す場所での整備を検討しています。



図-4 整備予定地

6 維持管理の方針

- ・ 草刈りや清掃等、日常の維持管理については、官民が連携し、継続的な維持管理ができる仕組みを構築します



図-5 維持管理の方針イメージ

7 今後のスケジュール

本計画の今後のスケジュールは、以下を予定しています。

パブリックコメントの募集	令和2年2月19日～3月10日
基本計画の策定	令和2年3月末
測量設計、工事等	令和2年度～
完成予定	令和5年度

※今後のスケジュールについては、小田川の堤防強化・拡幅工事等との調整が必要になります